



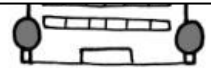
保存版

# 学校において予防すべき感染症一覧



## 第1種 治癒するまで出席停止

エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト
マールブルグ熱	ラッサ熱	急性灰白髄炎(ポリオ)	ジフテリア	SARS
中東急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ			



## 第2種 児童・生徒によく発症する感染症

病名	主な症状	出席停止期間
インフルエンザ	高熱、全身痛、全身倦怠、その他カゼ症状	発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	高熱、咽頭痛、全身倦怠、その他カゼ症状	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで 無症状の感染者は、検体を採取した日を0日とし、翌日を1日目と起算し5日を経過するまで
百日咳	特有の咳が長く続く（コンコン・ヒューヒュー）	特有の咳が消失するまで。 または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹（はしか）	結膜炎、鼻炎、発熱、全身に赤い発疹、頬の裏に白い斑点	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺の腫れと痛み、発熱、食欲不振	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風しん（三日ばしか）	ピンク色の発疹、リンパ腺の腫れ、発熱、咳、結膜の充血	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	紅斑から水疱へ、全身に広がり先に出たものから治る	すべての発疹が痂皮（かさぶた）化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	高熱、結膜炎、咽頭炎、首のリンパ腺の腫れ	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	疲労感、寝汗、微熱、咳、痰、体重減少、肩こり	病状により学校医その他の医師において、感染のおそれがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、嘔吐、意識障害	

### 第3種 学校で流行を広げる可能性がある感染症

病名	主な症状	出席停止期間
流行性角結膜炎 (はやり目)	流涙、目やに、異物感、 結膜の充血	病状により、 学校医その他の医師が 感染のおそれがないと認めるまで 
急性出血性結膜炎	きつい充血、結膜からの 出血	
腸管出血性 大腸菌感染症	激しい腹痛、下痢、おう吐	
コレラ・細菌性赤痢・腸チフス・パラチフス その他の感染症(主なものは以下の通り↓)		
溶連菌感染症	発熱、咽頭炎、扁桃炎	医師の指示による (ただし、発症後は感染能力がほとん どないため、全身状態が良ければ登校 は可能)
手足口病	軽い発熱、手の平・足の 裏・口の中に水疱	
伝染性紅斑 (りんご病)	顔面・腕や足に網目状の紅 斑	
ウィルス性肝炎 (A型肝炎)	発熱、全身倦怠、上腹部痛、 黄疸	医師の指示によるが 全身状態が良ければ 登校が可能 
ヘルパンギーナ	突然の発熱、咽頭・口腔粘 膜の水疱・潰瘍	
マイコプラズマ 感染症	ゆっくり始まるカゼ症状、 しつこい乾咳	
流行性嘔吐下痢症	突然の嘔吐 下痢(時に白い下痢便)	
感染性胃腸炎	吐き気・嘔吐、 腹痛・下痢	
アタマジラミ	頭皮のかゆみ	通常、出席停止の必要はない
伝染性軟属腫 (水いぼ)	光沢をおびた 粟～米粒大のいぼ	
伝染性膿痂疹 (とびひ)	水疱、びらん、 厚いかさぶた	

- ★これらの感染症と診断された場合は、「出席停止」扱いとなり「病欠」にはなりません。本人の療養と他への感染拡大防止のために、学校をお休みしてください。
- ★病院で、診断書や登校許可書を書いていただく必要はありませんが、病状や医師からの指示について、詳しくお電話にてお知らせください。
- ★登校再開に関しましては、出席停止期間・医師からの指示をお守りいただき、後日「学校感染症による出席停止届」を提出してください。